

申 立 書

年 月 日

(宛先) 大 津 市 長

所有者 住 所

氏 名

このたび、私が建築又は取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋の表示

所 在 地

家屋番号

2 家屋の住居表示

3 入居予定年月日 年 月 日

4 現在の家屋の処分方法等 *処分方法等を証明する書類を添付

ア.売却・賃貸 イ.取壊し ウ.借家・間借・社宅 エ.親族が引き続き居住する

オ.その他 ()

5 入居が登記の後になる理由

ア.当該家屋の建築（取得）資金貸付にかかる抵当権設定登記を急ぐため

イ.その他 ()

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、法務局より登録免許税の追徴を受けても異議ありません。